

☑ 4-そう思う ☑ 3-どちらかといえば、そう思う ☐ 2-どちらかといえば、そう思わない ☐ 1-そう思わない

学校教育目標

**1 教育方針・目標の理解**

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。

**2 意欲的な学校生活**

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。

**3 教師の連携協力**

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】(1)について 学校の教育方針や目標について、PTA総会時に説明を行ったり、学校便り・ホームページで知らせたりした。また学級懇談会の折、担任より児童の実態やめざす児童像等について、具体的に保護者に伝えた。今後、日々の実践の中でその具現化に努力していきたい。  
 (2)について 多くの子どもたちが、楽しい学校生活を送れているようである。今後さらに、子ども理解に努め、そのよさを伸ばす指導を心がけながら、全児童が楽しい学校生活が送れるように努力していきたい。  
 (3)について 保護者の1と教職員の1・2の回答が0であった。小規模校のよさを生かし、共通理解・共通実践を大切にした教育活動に取り組んでいきたい。

**4 授業づくりの工夫**

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

**5 意欲的な学習態度**

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

**6 総合的な学習の時間の充実**

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】1・2と答えた保護者・児童の割合が、教職員に比べ高かった。校内研修や日々の授業の中で、子どもの実態把握と個に応じた指導の充実に取り組んできたが、授業内容の理解が十分にできていない子どもが各クラスにいることが考えられる。今後さらに、授業において児童の実態に応じた適切な支援を行うと同時に、個別指導や補充学習を継続して行っていく。また、向学心を持たせる手立ての工夫を図り、児童の主体性を引き出す授業づくりを工夫していきたい。

【学校から】地域の特性や社会の要請等を考慮しながら、子どもにとってより魅力的な、より必要感のある調査・体験学習となるよう、内容の精選と授業展開の工夫に取り組む。

**7 道徳、心の教育の充実**

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。

**8 あいさつ、礼儀の励行**

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

【学校から】道徳教育を要とし、教育活動全体の中で子どもたちが動物や植物と関わり合う活動を行い、心の教育の充実に取り組んだ。また、道徳の授業を公開したり内容を通信に載せたりし、保護者の理解や家庭での取り組みに繋がった。  
(8)について あいさつがあまりできていないと考えている保護者が約20%、子どもと教職員が約10%いた。保護者や地域の協力のもと、あいさつの励行に取り組んできたが、今後もあいさつの大切さや必要性などを理解させ、実践につなげていきたい。また、児童の実態や取り組みを家庭や地域にも伝え、連携した取り組みを継続して実施していく。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

**9 一人一人の生徒の尊重**

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。

**10 友だちへの思いやり**

子どもは、友だちとなかよくできていると思いますか。

**11 特別支援教育**

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】児童との会話や日記、帰りの会等により、日常生活でのさまざまな問題をつかみ、一人一人に丁寧に関わるよう心がけてきている。今後さらに、保護者や児童の思いや願いを真摯に受け止め、教職員の共通理解を深めながら、個に応じた指導を進めていく必要がある。  
 (10)について 4・3に回答した保護者や児童が97%を超えた。今後も人権意識の高揚を図るとともに、思いやりのある行動の仕方について、具体的に指導し、友達と仲良く過ごせる児童の育成に努めたい。

【学校から】特別支援教育校内委員会や保護者・専門家等を交えての会議、交流学习の授業研究会等を通し、共通理解が確保され、各学級できめ細かな支援が実践された。今後も保護者との連携を図りながら、具体的な支援のあり方を検討していく。

**12 生徒理解**

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。

**13 規範意識**

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。

**14 いじめや問題への対応**

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【学校から】(12)について 児童理解のための校内研修や生活朝会を実施し、子どもの実態や指導方法について話し合い、共通理解を図った。また、個々の子どもの実態をつかみ、個に応じた指導法の工夫・改善に取り組んできた。しかし、2・1と回答した児童が9%おり、今後さらに個々の児童理解につとめていく。  
 (13)について きまりやルールの遵守に、学級指導や全校集会の場での指導の徹底を図った。今後、課題を明確にしながら、児童の規範意識の育成に全職員の共通理解を図り、共通実践に取り組んでいく。  
 (14)について 保護者と子ども・教職員の評価にずれが見られた。生活の様子をしっかりと観察し、問題行動の防止に努めるとともに、問題行動発生時は家庭との連携を図った迅速で、誠実な対応を行う。

### 健康教育 安全

#### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	97	3
教職員	0	0	0	0	100	0

#### 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	42	58
児童	0	0	0	0	12	88
教職員	0	0	0	0	100	0

【学校から】(15について)4・3の割合が、保護者97%教職員100%で、安全と事故防止への取り組みについて一定の評価が得られた。今後も、危機管理の意識を高く持ち、継続して日常的に指導していく。  
 (16について)体育委員会によるゲーム大会を開いたり、冬季には15台の縄跳び練習台を設置したりした。しかし1・2と回答した児童が12%おり、運動や外遊びを好まない児童もいる。今後も、外遊び奨励の手だてを工夫していく。

### 学校行事

#### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	42	58
児童	0	0	0	0	42	58
教職員	0	0	0	0	100	0

【学校から】保護者と子ども、教職員の評価にずれが見られた。各行事の意義を、児童の発達段階に応じて丁寧に説明したり、一人一人の児童が力を発揮したりできるよう、内容や方法に工夫を凝らしていく必要がある。

### 学校環境

#### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	92	8
児童	0	0	0	0	92	8
教職員	0	0	0	0	100	0

#### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	92	8
児童	0	0	0	0	8	92
教職員	0	0	0	0	100	0

【学校から】(18について)朝のボランティア活動やみどりタイム、学級活動、生活科等の時間を使い、緑化活動が計画的に進められた。学年の掲示物についても、定期的に点検が行われ、子どもにとって安全で、効果的な掲示が行われていた。  
 (19について)月1回の安全点検や毎週月曜日の遊具点検をしっかりと行い、不備な点については、迅速な対応を今後も図っていく必要がある。また、教職員・子どもの安全管理に対する意識を高め、安全な施設・設備の活用・運用が図られるようにしていく。

### 情報の公開・発信

#### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	92	8
教職員	0	0	0	0	92	8

#### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	10	90
教職員	0	0	0	0	8	92

【学校から】(20について)4・3の割合が、保護者・教職員とも92%を超えた。学校便りを始め、学級通信等で学校の情報を保護者や地域に伝えた。学校ホームページを定期的、計画的に公開するとともにその内容の充実を図る。  
 (21について)保護者の4の割合は10%以上増えたが、逆に1・2の割合も8%ほど増えた。できるだけ多くの方に参加していただけるよう、案内の便りを早目に配布したり、学級通信で実施日等を知らせたりしてきたが、保護者の参加率を高めるよう、さらに内容や日程の工夫を検討していきたい。

### 家庭・地域との連携

#### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

対象	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	42	58
教職員	0	0	0	0	100	0

【学校から】学校評議員会や学校安全対策協議会、PTA運営委員会や学級懇談会等、学校と地域・家庭を結ぶ機会における情報交換と意思疎通を、今後も図っていく。また、地域人材の活用を図ったり、学級懇談会の持ち方等を工夫したりする事も必要である。

### 来年度の具体的な取り組みについて

- 学力を向上させるため、個に応じた指導の充実を図るとともに、わかる授業や楽しい授業づくりに努める。
- 子どもとの積極的なコミュニケーションや、心のアンケート・生活ノート等の効果的な活用により子ども理解に努め、一人一人を大切に教育活動を展開する。
- 支援を必要としている子どもの実態や支援の仕方について共通理解し、組織として支援に取り組む。
- 保護者や地区の方との会合において、積極的に情報の交換を図り、家庭・地域と連携した教育活動を展開する。

### 学校関係者評価

- 一人一鉢運動により常に花が咲いており、環境がよい。今後も継続してほしい。
- 子どもたちは、よく挨拶ができるようになってきている。さらに、家庭や地域へ広げてほしい。
- 公共施設の使い方は、大人も含め、地域で取り組む必要がある。
- 地域の各団体も、学校へは協力的なので、積極的に活用してほしい。